

長野県内の困難を抱える子ども・若者支援の現状

県民文化部次世代サポート課

1. 義務教育年代の不登校児童生徒の状況

公立小中学校における
継続的不登校児童生徒
約1,200人

- 公的教育支援 中間教室（66所） 約400人
- 民間教育支援 フリースクール（20～30団体） 約100人
- 家居等 約700人

公的支援なし

1
2

教育機会確保法
で本人に合った、
多様で適切な学
習活動を保証す
る必要がある。

2. 高校生年代以降の社会的自立に困難を抱えた若者の状況

・ 就労、自立に困難を抱える方
・ 15～18歳までの間で中退等
により自立支援が必要な若者
（約500人～950人+α）

- 公的教育支援 高校生を対象とした中間教室の設置なし
- 公的就労支援 ハローワーク、サポステ、まいさぽ等
- 民間教育支援 自立支援団体（侍学園、翔和学園等30～40団体）
- ニート 約6,000人
- ひきこもり 約8,000人

一部、困難を有する子ども・
若者の社会的自立支援事業補
助金交付
※H29：5団体

3

ニート、ひきこもりの
人数は重複あり

※人数はすべて推計値